

ふくおが



烏飼八幡宮の初詣

1・2月の 主な行事

- | | | | |
|-------|------------|--------|---------|
| 1月 4日 | 仕事始め | 2月 21日 | 三役会 |
| 7日 | 合同新春記者会見 | 27日 | 第12回理事会 |
| 16日 | 福岡県酪農女性の集い | | |
| 21日 | 三役会 | | |
| 23日 | 経営管理会議 | | |
| 28日 | 第11回理事会 | | |

- | | | | |
|--------------|-----|-----------------|---|
| 新年のご挨拶…………… | 1～5 | 色々問答…………… | 7 |
| 組合トピックス…………… | 6 | MOMOステーション…………… | 8 |

謹んで初春のお慶びを申し上げます

新年のご挨拶



ふくおか県酪農業協同組合

代表理事組合長 尾形文清



新年あけましておめでとございます。

組合員の皆様におかれましては、ご健勝なる新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、組合員の皆様方、関係機関・団体におかれましては、本組合・酪農事業の発展につきまして、格別なるご理解、ご指導、ご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

昨年も災害の多い一年となりました。西

日本を中心とした七月の豪雨、九月には北海道胆振東部地震、更に相次ぐ台風など多くの天災に見舞われました。また、この夏には日本列島各地で「命に危険を及ぼす猛暑」が続き、特に、埼玉県では観測史上最高気温となる四十二度超えを記録しました。被災された方々や関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この北海道地震による全道停電のため、

約二万トンの生乳廃棄や乳房炎等で生産量が激減した結果、北海道から都府県への生乳移出が制限されたため、都府県での飲用牛乳不足など消費者にも影響を与えました。今後においても、災害等による船舶輸送ストップも考えられるため、都府県酪農の生産基盤強化が図られない限り、北海道頼みだけでは生乳需給の混乱を繰り返すこととなります。

こうした中、平成三十年十一月十四日には東京・永田町の自民党本部で日本酪農政治連盟主催の『家族型酪農危機突破！全国酪農民総決起大会』が開催され、酪政連福岡県支部連合会と組合の役員等十二名が参加しました。家族経営に焦点を当てたこの大会には、全国から酪農家など七百人以上が集まり、酪農経営体の大半を占める中小規模・家族型酪農経営の永続的展に繋がる支援対策拡充の要請や、進展する

自由貿易交渉への的確な対応等を出席した国会議員に訴えました。大会終了後は、乳価値上げの必要性、日本酪農の意義など消費者への理解を求めて都内をデモ行進しました。

一方、昨年を振り返りますと自由貿易拡大への動きが加速し、不安を募らせる一年となりました。TPP11が昨年十二月、日欧EPAは今年二月に発効の見込みで自由化へ加速化しております。国会での十分な審議も尽くされず、数の力で政府与党は採決を押し切り、平成の次の年号は、かつてない農産物市場開放の時代を迎えることとなります。更に、日米物品貿易協定(TAG)の交渉結果によっては、国内農業の危機的状況に拍車がかかり経営への悪影響は測りしれないものとなります。政府には、将来展望についての丁寧な説明と酪農の安定的発展のための適切な対応を求めています。

昨年は、四月に施行された改正畜安法(畜産経営の安定に関する法律)による指定団体制度改革の一年目となりました。改

正は、指定団体への「全量無条件委託による二元集荷多元販売」の原則が廃止され、加工原料乳補給金の交付対象が広がり、これまでのアウトサイダーの存在も認めることになりました。

組合では、制度改革の内容及び指定団体制度による共販体制の役割と必要性について、組合員説明会を実施しました。この後、全組合員が組合と従来どおりの取引を行うことで、生乳受託販売契約書を締結しました。

全国でも基本的には大きな変化は見られないものの、一部においては生乳の流通に混乱があるようで、本当に酪農乳業の発展のための改革となっているのか制度運用と併せた検証が必要となります。

組合では、生産基盤強化のため専任指導員や乳牛診療人工授精所等との連携による指導推進の取組みと、導入事業や後継牛増産・流通対策等を行いました。しかし、上期において前年を上回った生乳生産量も年度末では若干の減産を見込まざるを得ない状況にあります。一方、組合員の乳用雌子

牛を預かる組合直営の畜産支援牧場開設から今年で二年目を向かえます。これまでの乳用後継育成牛の預託頭数は計画以上を預かっており、昨年七月からは畜産支援牧場へ入牧後、授精した牛が退牧し始めました。組合員の後継牛を預かり発育良好な初妊牛としてお返しすることで後継牛確保と労働力軽減に寄与し、酪農生産基盤の拡充を図れるよう努めてまいりますので、組合事業へのより一層のご理解、ご協力をお願い致します。

本年も役職員一同一体となり事業の推進に邁進してまいりますので、組合員、関係機関、団体の皆様におかれましては、旧年に倍するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

迎春

新年のご挨拶



福岡県農林水産部長

岡本 光司



を進め、酪農経営の競争力強化に取り組んでまいります。

結びに、ふくおか県酪農業協同組合並びに組合員の皆様が、酪農振興に一丸となつて邁進されますようご期待申し上げますとともに、本年が、皆様にとつて素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

あけましておめでとございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

酪農は、牛乳・乳製品の供給を通じ、私たち県民の豊かな食生活に貢献しているだけでなく、堆肥の農地への還元によつて本県農業にとつて大切な土づくりにも大きな役割を果たしています。そのような酪農の振興にあつてご尽力いただいております生産者や団体の皆様に、厚くお礼申し上げます。

さて、酪農をめぐる情勢は、高齢化による酪農家戸数の減少等に伴い、生乳生産量が減少傾向で推移している一方で、飼料価格の高止まりや初妊牛価格の高騰など、経営環境は依然として厳しい状況が続いています。

そのような中、昨年十二月三十日に発効したTPP11に続き、日EU・EPAも今年二月一日の発効が確定するなど、酪農を取り巻く情勢は、一層厳しさを増すことが予想されます。

このため、国では、畜産クラスター事業など競争力強化に向けた取組みを加速させるとともに、中小酪農経営生産基盤の維持・強化に向け、経営継承や後継牛確保、労働負担の軽減に向けた取組みを強化することとしております。

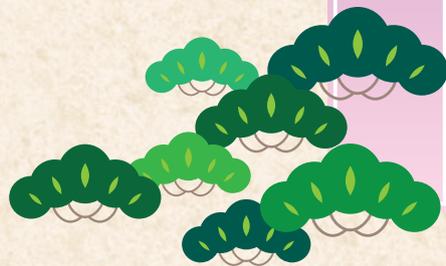
県としましても、国の施策も最大限に活用しながら、生産規模の拡大につながる畜舎の新設、飼料増産のための機械の整備、雌雄判別精液を活用した乳用後継牛の確保な



新年のご挨拶



日本酪農政治連盟 福岡県支部連合会
会長 草場 哲治



あけましておめでとございます。盟友の皆様におかれましては新たな気持ちで良き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、日本酪農政治連盟の活動にご理解・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

日本国内では、昨年六月に大阪大地震、七月には西日本の大豪雨、そして九月には国内酪農の基盤を揺るがしかねない北海道の大地震と、自然災害が頻発した年となり、あらためて自然の脅威を認識させられた一年となりました。被災された方々、関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて昨年十一月には東京・自民党本部ホールにて、三年ぶりとなる「家族型酪農危機

突破！全国酪農民総決起大会」が開催されました。

大会には、七百名以上にも及ぶ全国の酪農家に参加、日本酪農の維持発展のため①新たな補給金制度の適格な運用、補給金単価の制度の適正な決定(営農意欲・担い手確保を促す飲用乳価と補給金単価の実現)②頻発する自然災害(地震、台風、猛暑等)対策として、自家発電機、暑熱対策用設備等に対する支援対策の継続と拡充③自由貿易拡大に伴う国内支援対策の継続と拡充④家畜排せつ物処理施設等の整備・補修への支援対策の拡充⑤若者・女性の参入を促すために、その働き方改革に繋がる仕組み作りと支援対策の拡充の五項目が決議されました。そして六〇名以上の自民党議

員にはこれらの決議事項を踏まえ国内酪農の経営安定・生産基盤強化対策を直接要求、また自民党酪政連の幹部の方からも「今日の大会のことは、総理にお伝えする。」と心強い発言もいただくことができました。そして大会終了後には、参加者によるデモ行進で酪農の窮状・危機を大いにアピールし、一定の成果をあげることができました。

戸数・頭数ともに減少の一途をたどっている国内酪農の現状ですが、新たな加工原料乳生産者補給金制度や、昨年末に発効されたTPP11、そして今年二月に発効見込みのEPA等、自由化の波が加速され、さらなる不安要素となつてきております。

それに対し酪政連としましては、ふくおか県酪農協と連携し、安全安心な食糧の供給はもちろんのこと「国土環境の保全、雇用創出等の多面的な機能などの議論を深める運動」「指定団体が行う酪農再生産可能な乳価獲得の交渉への継続的な支援活動」「牛乳・乳製品消費拡大運動」「党派を超えて全国団体・関連団体と連携した酪農支援施策の要請活動」等に取り組んでまいります。

最後に、盟友の皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひします。



監 事	監 事	代 表 監 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	副 組 合 長 理 事	代 表 理 事 組 合 長
吉 田 敏 裕	石 橋 義 則	穂 坂 精 樹	古 藤 政 則	小 島 興 人	中 島 清	濱 崎 留 久	鶴 田 信 行	波 多 江 正 好	江 藤 秀 樹	草 場 哲 治	尾 形 文 清

デ ラ バ ル (株) 福 岡 営 業 所	西 日 本 オ リ オ ン (株) 福 岡 営 業 所	(株) 西 酪 運 輸	福 酪 運 輸 (株)	オ ー ム 乳 業 (株)	ニ シ ラ ク 乳 業 (株)	株 式 会 社 明 治	雪 印 メ グ ミ ル ク (株) 福 岡 工 場	ジ エイ エ イ 北 九 州 く み あ い 飼 料 (株)	J A 全 農 西 日 本 酪 農 事 業 所	全 畜 連 福 岡 支 所	全 酪 連 福 岡 支 所
(株) デ ー リ イ ・ ジ ャ パ ン	(株) ビ タ コ ー ゲ ン の (株) セ イ ワ	M P ア グ ロ 株 式 会 社	日 本 全 薬 工 業 (株)	(株) サ ン ・ ダ イ コ ー	カ ネ コ 種 苗 (株) 熊 本 支 店	雪 印 種 苗 (株) 熊 本 営 業 所	(株) 野 澤 組 九 州 営 業 所	(株) 土 谷 特 殊 農 機 具 製 作 所	藤 樹 運 搬 機 工 業 (株)	中 央 乳 機 (株)	

★第三回飯塚支所の集い★

12月5日に約100名の参加者を集め第三回飯塚支所の集いが開催されました。餅つき大会そして焼き肉や海産物の焼ものなども振る舞われ、大いに盛り上がりました。来年以降も引き続き開催して組合発展に寄与していきたいと思ひます。



②日頃からご指導頂いている事業団さんと各検定組合事務局員さんの集合写真



③作業風景(牛の卵巣から卵子を取り出す)



④作業風景(卵子に精液をかけて受精卵をつくる)

今後視察研修を通して、検定事業に関する知識は勿論のこと、畜産にかかる様々な情報を収集取得して参りたいと思ひます。

二日目は家畜改良事業団 家畜バイテクセンターを訪問し業務内容や体外受精卵の生産・供給等について説明を受け、体外受精卵の生産現場を見学しました。

初日は家畜改良事業団 本部・情報分析センターにて会議が行われました。内容としては乳用牛群検定の概況・いろいろな検定方法・新しい牛群検定等について説明を受け、その後、活発な質疑応答が行われました。

十一月二十八日(木)～二十九日(金)に視察研修会が開催されました。全体の参加人数は九名で、福岡の各検定組合長三名、事務局員四名、本所より二名が参加しました。



①初日の会議風景

牛群検定連絡協議会 視察研修会を開催



いろいろ 色色問答

吉木 四郎

畜産女子力アップで収益アップ

中央畜産会が「畜産経営における

女子力発揮のための手引き」を取りまとめました。これは畜産現場での

女性の活躍推進を図ることを目的に、JRAの助成を得て調査や意見

交換会等を実施し、その結果を取りまとめたものです。人手不足の畜

産業界にとって大変貴重な提言ですので、内容を簡単に紹介します。

1. 女性の活躍で何が良くなるのか

女性が待つ優れた能力として①

消費者目線を持っている、②家畜への接し方が丁寧、③畜舎等の清掃が行

き届く、④施設、機械の取扱が丁寧、⑤注意深く資金管理をする等があり、

女性活用によって、販売戦略、衛生管理、哺育育成管理などが向上

し、その結果、売上げや収益性が改善します。調査によれば、法人経営

で女性役員がいる場合とない場合では、酪農経営で二頭当たり十五万

円、肉用牛繁殖で八万円、肥育経営で十六万円、養豚一貫経営で二十五

万円の収益の向上がありました。

2. どうすれば女子力を発揮させられるか

女子が働きやすい職場環境の改

善については、更衣室やトイレなどのハードの整備はもちろんですが、

就業や賃金規則の整備、家族経営の場合は家族経営協定の締結など、

ソフト面の改善が必要です。最も重要なのは経営者や地域の意識変

革で、一人の就業者として男子と平等に扱うことや地域としても意見を

尊重する環境作りなどが必要とされています。

特に、考慮すべき点として、結婚、出産、育児といった女性特有のライフ

サイクルがあるということです。法人と家族経営では多少異なります

が、基本は同じです。優秀な技術者が流出しないよう、男性従業員とよ

く議論し業務内容、作業体系、コスト等を見直し、対応策を考えることが

重要です。

3. おまじ

非農家出身の若い女子で、動物好

きの女子が結構多く居ます。牛、豚、羊と異なってはいますが、共通してい

るのは、動物がとても好きということとです。女性には母性本能がありま

す。この能力は命を育み、栄養価の高い食物を生産するという産業であ

る畜産業にとって、最も貴重な能力ではないでしょうか。今こそこの能力

をフルに活用して、生産性を向上し、収益力のアップを図りましょう。

表) 女性役員の有無による年間売上高の差 (万円)

経営種別	酪農	肉用牛繁殖	肉用牛肥育	養豚一貫
女性役員がいる経営	104	54	65	95
女性役員が居ない経営	89	46	49	70
1頭当たり売上げ高の差	15	8	16	25

「畜産経営における女子力発揮のための手引き」より抜粋



MOMOステーション

(ふくおか県酪農青年女性会議ニュース)

Vol.178

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

昨年よりふくおか県酪農青年女性会議の委員長に就いた松隈 宗喜です。

昨年は、西日本豪雨などの災害で多くの酪農家に被害があったと思います。大変な中、ふくおか県酪農青年女性会議の活動にご協力、ご理解頂きありがとうございます。

今年度は、昨年に続き経営発表、意見・体験発表ともに二名ずつ発表して頂く事になりました。早い段階で快く引き受けてくださったお二方には、深く感謝を申し上げます。発表の応援と来月に開催するスポーツ大会では、ボーリングがありますので、多くのご参加をお願い申し上げます。本年も青年女性会議をよろしくお願ひします。

委員長 松隈 宗喜

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、ふくおか県酪農青年女性会議活動にご理解、ご協力頂き感謝申し上げます。

ここ数年を振り返ると、猛暑や酷暑といった言葉が思い浮かびます。昨年は県内でも三十八度超えを記録する日もあり、牛にとつても、厳しい日々が続きました。換気や遮熱、飲水量と様々な対策を講じて牛へのストレスは計り知れません。

乳量や乳成分は一旦暑熱のストレスを受けると、なかなか回復しません。また、繁殖成績にも悪影響をもたらします。効果的な暑熱対策が必要です。

青年女性会議として、少しでも酪農家の皆様に役立つ情報や交流の場を提供できるように活動していきたいと思ひます。

副委員長 御手洗 英

明けましておめでとうございます。

ふくおか県酪農青年女性会議の役員は、十数年ぶりです。身の引き締まる思いです。近年、異常気象で災害の多い年が続きました。大自然の力の強さの前に、人間がいかに弱く、小さい存在か知らされました。しかし、嬉しい事に、支え合う事を思い出させてくれました。

二月のスポーツ大会では、今年は、ボーリングですが、三月の福岡県発表大会と行事は、続きます。皆様にお会い出来る事を楽しみにしています。

これからも、ふくおか県酪農青年女性会議をよろしくお願ひします。

副委員長 中村 香

新年、明けましておめでとうございます。

思いがけず、ふくおか県酪農青年女性会議の副委員長という大役を頂き大変困惑しております。

これも、ご縁だと思ひ行事を通して勉強させて頂いております。

家族酪農は女性の力が不可欠です！女性の皆様、更に地位向上目指して頑張りましょう！

また、二月のスポーツ交流会ではボーリングに決まりました。是非参加して交流を深めましょう。

最後に皆様にとつて明るい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

副委員長 林 頼子



11月分生乳販売実績

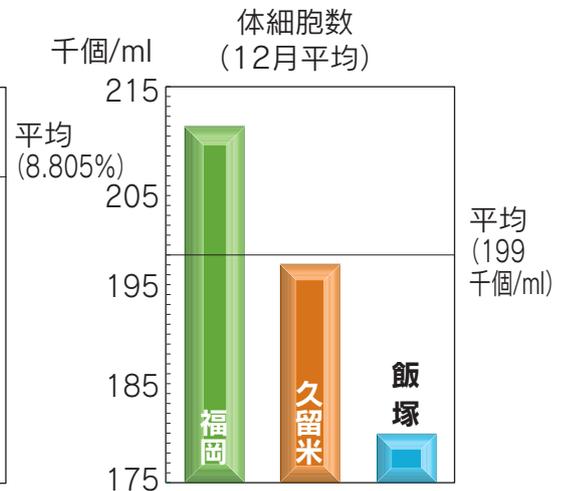
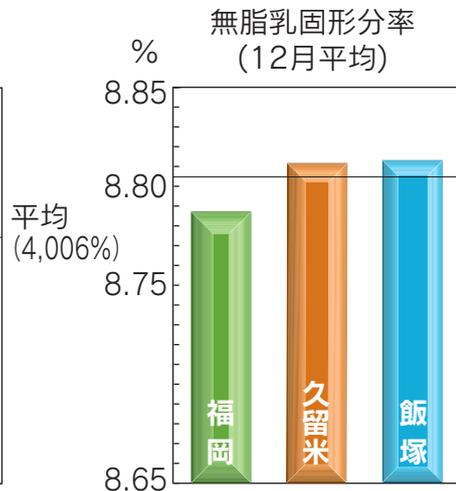
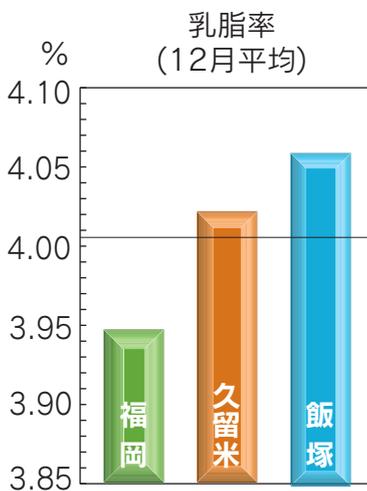
受託乳量 6,011,715kg
前年同月比 99.1%
支払乳価 (九販連乳価率100%) **108.234円**
プール費用・単価 送乳経費 **3.804円**
 CS・冷却費 **0.954円**

支払乳価: 当月の販売実績により、求められた金額に九販連の乳価率を乗じ算出
プール費用: 区域外への送乳経費及びCS・冷却費



所場別乳量

生乳生産量実績・前年同期対比 (4-12月)



人事異動

I. 退職 (12月31日付)

氏名	所属
渡瀬 達生	久留米支所

II. 異動等 (1月1日付)

氏名	新所属	摘要	旧所属
西村 麻由実	久留米支所	3月まで	酪農部